

**第1
分科会**
家庭教育
研究課題
子供の力を引き出す家庭教育のあり方

～自己肯定感を高め、可能性にチャレンジする子供を育てるために～

現状と課題

激動の時代を生き抜く子供たちを育むために、今、家庭教育の重要性が改めて指摘されています。自己肯定感を高め、何事にも積極的にチャレンジし、自らの道を自力で切り開いていく子供をどう育てていくかが問われています。そのために、どのように家庭教育を進めていけばいいのかについて、様々な取組や意見交換を通して一緒に学びましょう。

討議の視点

- ① これからの変革の時代を生きる子供たちに必要な力とは
- ② 子供に自己肯定感を持たせる家庭教育の在り方
- ③ 行政その他による家庭教育支援の現状

提言者

- 基調講演者
大日向 雅美 氏
恵泉女学園大学 学長
- 実践発表者
米田 珠美 氏
広島県府中町
家庭教育支援チーム「くすのき」代表
- コーディネーター
高杉 良知 氏
文部科学省生涯学習政策局 元 社会教育官
- パネリスト
里本 佳子 氏
広島県立生涯学習センター 所長
- 米田 珠美 氏
広島県府中町
家庭教育支援チーム「くすのき」代表
- 水野 達朗 氏
大阪府大東市教育委員会 教育長
- 藤井 智佳子 氏
NPO法人あっと 代表理事

**第2
分科会**
学校教育
研究課題
すべての子供たちの豊かな学びを実現するために

～様々な要因から学校に適應できない子供たちへの対応～

現状と課題

学校教育においては、一人の子供も取り残さない取組が求められています。しかし、現状をみると様々な原因で学校へ行けなくなり、多様な学びの場を求めている子供たちが数多く存在しているのも事実です。

学校に行きにくい子供たちの学びを保障するために、どのような取組が必要なのかについて一緒に学びましょう。

討議の視点

- ① 不登校の子供たちを生み出す原因にはどのようなものがあるのか
- ② 原因を理解した上で、適切な対応について考える
- ③ 学びの保障とは何か
- ④ 不登校問題に医学的見地からアプローチする

提言者

- 基調講演者
小熊 広宣 氏
NPO法人全国不登校新聞社 事務局長
- 実践発表者
行廣 真由 氏
広島県熊野町立熊野中学校 教諭
- 松本 美奈子 氏
広島県三原市立久井中学校 教諭
- コーディネーター
栗原 慎二 氏
広島大学大学院 教授
公益社団法人学校教育開発研究所 代表理事
- パネリスト
小熊 広宣 氏
NPO法人全国不登校新聞社 事務局長
- 桑原 健太郎 氏
広島市民病院 小児科 部長
- 渡邊 美佳 氏
広島県教育委員会事務局学びの変革推進部
個別最適な学び担当 不登校支援センター長